

第2回世界防災フォーラムでセッションを開催しました（2019/11/10-11）

テーマ：産学官連携、情報発信、防災・減災
場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

2019年11月10日（日）から12日（火）にかけて、仙台国際センターにおいて、「第2回世界防災フォーラム」が開催されました。「世界防災フォーラム」はスイスの防災ダボス会議と連携し、仙台に国内外から産・官・学・民の防災関係者が集まり、東日本大震災に関する知見を世界発信、さらに防災の具体的な解決策を創出し、BOSAIという言葉で災害リスク軽減から復興・再生までを包括する概念として世界へ浸透させることを目指して、2017年の第1回に引き続き開催されました。

11月10日（日）には、当研究所 地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門（以下、同部門）主催、東京海上日動火災保険株式会社・東京海上日動リスクコンサルティング株式会社共催の企画セッション「Creating a disaster resilient society through industry-academia collaboration」を開催しました。同セッションでは、今村文彦教授による基調講演をはじめ、講演者として、東京海上日動火災保険株式会社 嶋田浩生氏、東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 林晃大氏、同部門のサッパシーアナワット准教授・宮本龍助手が登壇し、産学連携を通じた災害レジリエント社会の創造の端緒となる、学術研究・CSR・実践・取組等が発表されました。会場には52名の聴講者が参加し、各講演に対して活発な議論となりました。また、同部門所属の教員が以下のポスター展示を実施しました。

併せて、世界防災フォーラムと同時開催の「仙台防災未来フォーラム」（11月10日（日））において、同部門所属の教職員が以下に記すブース出展を実施しました。今回のブース展示においては、3点のポスター展示、津波シミュレーションおよび防災教育活動等の動画デモ、防災クリアファイル・東京海上グループ CSR ブックレット 2019の配布を実施しました。防災研究者や地域で防災を担当されている方、防災・減災に強い関心を持つ方が立ち寄り、多くの質問やご意見をいただくような場面も見られました。100名ほどの方々に足をとめていただき、盛況のうちに出展を終えました。

【世界防災フォーラム】

● セッション

- 11月10日、同部門主催 東京海上日動火災保険株式会社・東京海上日動リスクコンサルティング株式会社共催 企画セッション「Creating a disaster resilient society through industry-academia collaboration」、講演者：今村文彦 教授、嶋田浩生氏、林晃大氏、サッパシーアナワット 准教授、宮本龍 助手

● ポスターセッション

- Masakazu HASHIMOTO, Shuji SETO, Ryu MIYAMOTO and Saroj KARKI: Investigation of typhoon no. 19 (2019) induced flood damages and historical characteristics of flood hazards around Yoshida River in Miyagi Prefecture, Japan

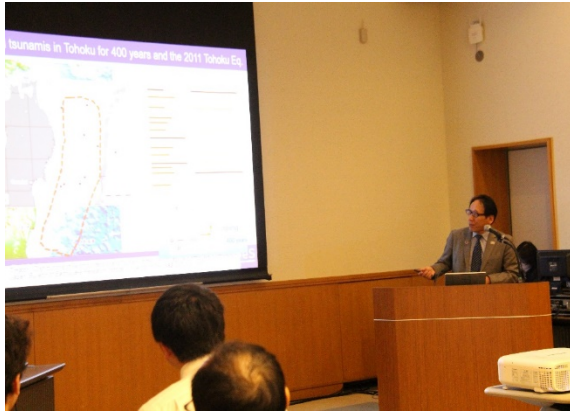
【仙台防災未来フォーラム】

● ブース展示

- 東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門、地震津波リスク評価および総合的な防災・減災に向けて 一産学の連携を通じて一、展示担当：サッパシーアナワット 准教授、山下啓 准教授、宮本龍 助手、武田真一 学術研究員（教授）、保田真理 プロジェクト講師、佐藤雅美 技術補佐員

文責：宮本龍（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）
（次頁へつづく）

世界防災フォーラム セッション



今村文彦 教授



東京海上日動火災保険 嶋田浩生 氏



東京海上日動リスクコンサルティング
 林晃大 氏



サッパシーアナワット 准教授

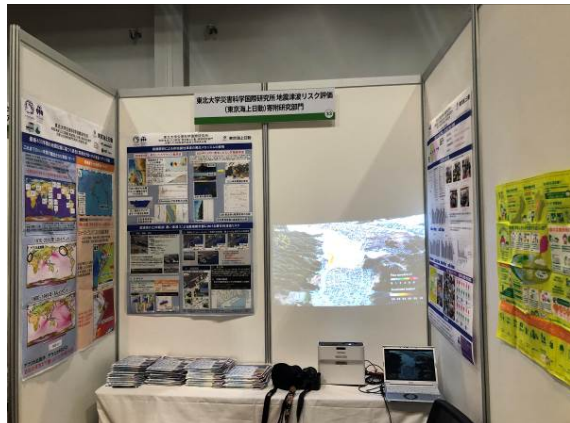


宮本龍 助手



会場からの質疑

仙台防災未来フォーラム ブース展示



ブース展示 全景



保田真理 プロジェクト講師と
 佐藤雅美 技術補佐員